

令和4年度盛岡市版自立支援型地域ケア会議 (わちゃわちゃ会議) について

～これまでの開催状況と参加者アンケート結果の報告～

盛岡市 保健福祉部 長寿社会課

開催状況について

回	開催日	担当地域包括支援センター	開催時間	出席者数 (人)	備考
第1回	5月31日	長寿社会課	2時～3時	144	模擬会議
第2回	6月30日	五月園地域包括支援センター	2時～3時	160	
第3回	7月15日	松園・緑が丘地域包括支援センター	4時～5時	148	
第4回	7月29日	仁王・上田地域包括支援センター	2時～3時	121	
第5回	8月18日	盛岡駅西口地域包括支援センター	4時～5時	124	
第6回	8月30日	青山和敬荘地域包括支援センター	6時～7時	102	
第7回	9月30日	玉山地域包括支援センター	2時～3時	125	
第8回	10月14日	イーハトーブ地域包括支援センター	6時～7時	71	
第9回	10月28日	飯岡・永井地域包括支援センター	2時～3時	133	
第10回	11月15日	みたけ・北厨川地域包括支援センター	2時～3時	106	
第11回	11月30日	地域包括支援センター川久保	4時～5時	120	
第12回	1月16日	浅岸和敬荘地域包括支援センター	2時～3時	116	
合計				1,470	

職種別の出席者内訳について

	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	第9回	第10回	第11回	第12回	合計
主任CM・CM	58	75	77	44	57	32	63	21	69	55	55	46	652
保健師	12	8	9	9	7	6	7	4	9	6	7	8	92
社会福祉士	14	11	14	14	12	6	8	4	5	7	9	10	114
第2層SC	10	9	9	11	8	5	8	5	6	7	11	8	97
理学療法士	10	6	6	4	4	4	3	2	5	1	5	3	53
作業療法士	6	1	5	2	3	6	6	3	3	1	5	5	46
薬剤師	11	18	8	16	18	23	12	17	14	12	10	13	172
管理栄養士・ 栄養士	4	3	2	1	1	2	4	4	3	1	3	5	33
歯科衛生士	0	0	1	2	2	2	2	2	2	2	3	1	19
その他	19	29	17	18	12	16	12	9	17	14	12	17	192
合計	144	160	148	121	124	102	125	71	133	106	120	116	1,470

【参考：周知先】

地域包括支援センター、介護支援センター、居宅介護支援事業所、介護サービス事業所（訪問介護、訪問看護、通所介護、通所リハビリ、小規模多機能型居宅介護、看護小規模多機能型居宅介護、特養、老健、福祉用具等）盛岡南部地域リハビリテーション広域支援センター（南昌病院）、盛岡薬剤師会、岩手県栄養士会、岩手県歯科衛生士会、市役所関係課

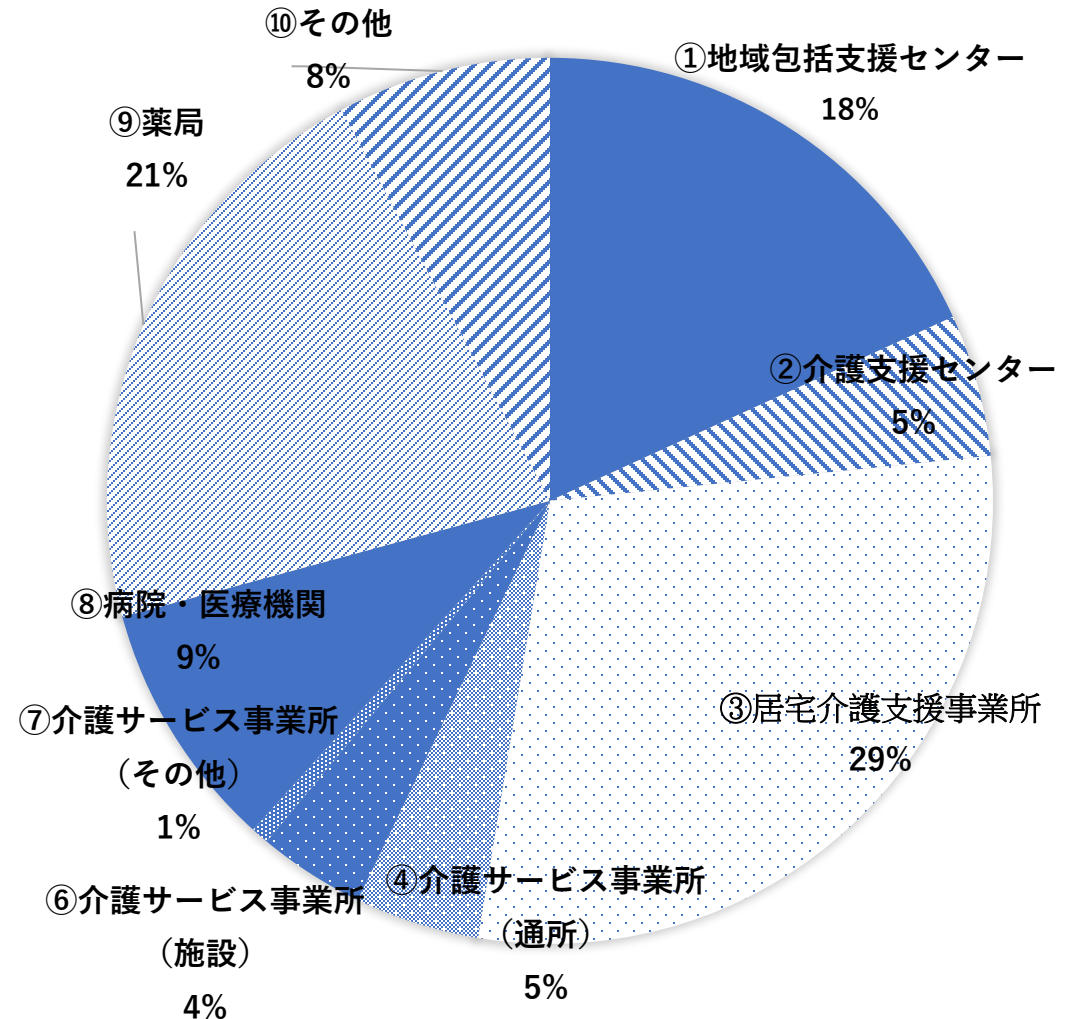
参加者アンケート結果について

調査の概要

- 1 対象者：令和4年度盛岡市版自立支援型地域ケア会議参加者（第1～11回）
- 2 回答方法：Webフォーム（Microsoft Forms）によりインターネットから回答
- 3 実施期間：令和4年12月7日（水）から12月21日（水）まで。
- 4 回答数： 154件

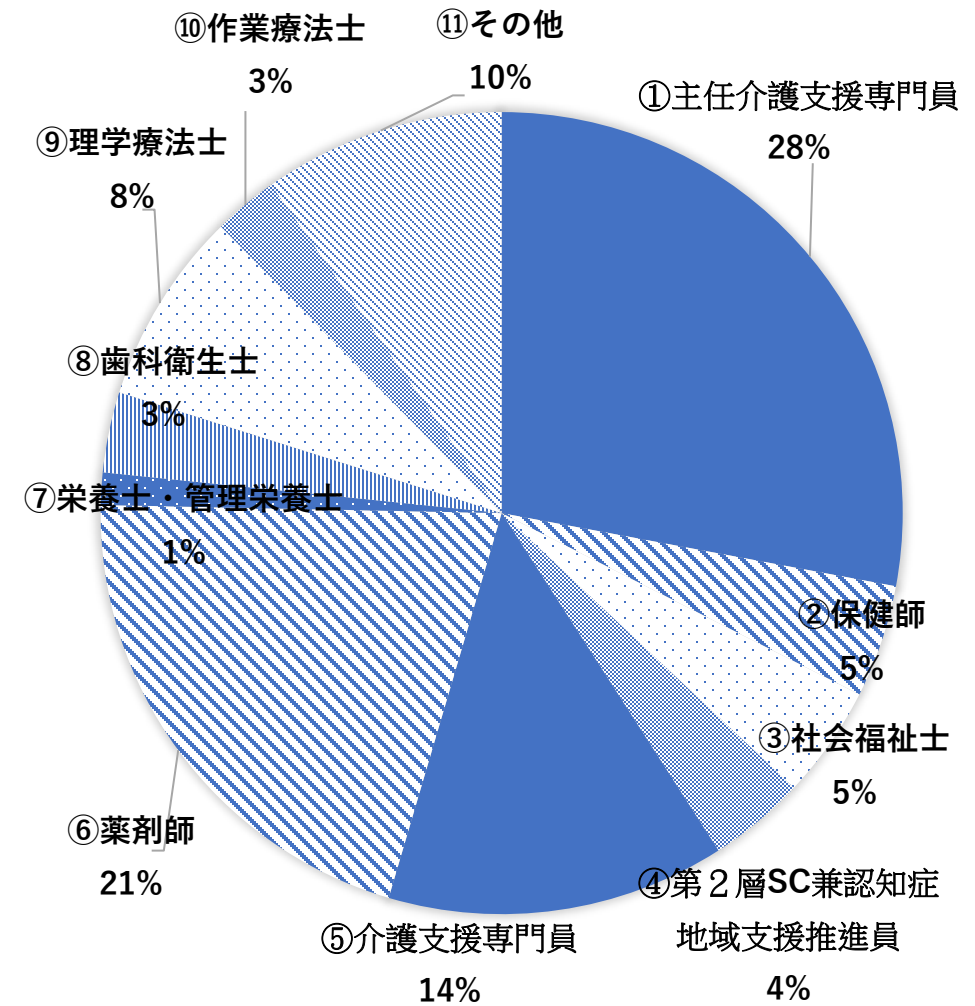
あなたの所属について伺います

所属	回答数	割合
①地域包括支援センター	28	18%
②介護支援センター	8	5%
③居宅介護支援事業所	45	29%
④介護サービス事業所（通所）	7	5%
⑤介護サービス事業所（訪問）	0	0%
⑥介護サービス事業所（施設）	6	4%
⑦介護サービス事業所（その他）	1	1%
⑧病院・医療機関	14	9%
⑨薬局	33	21%
⑩その他	12	8%
合計	154	100%



あなたの職種（職名）についてお伺いします

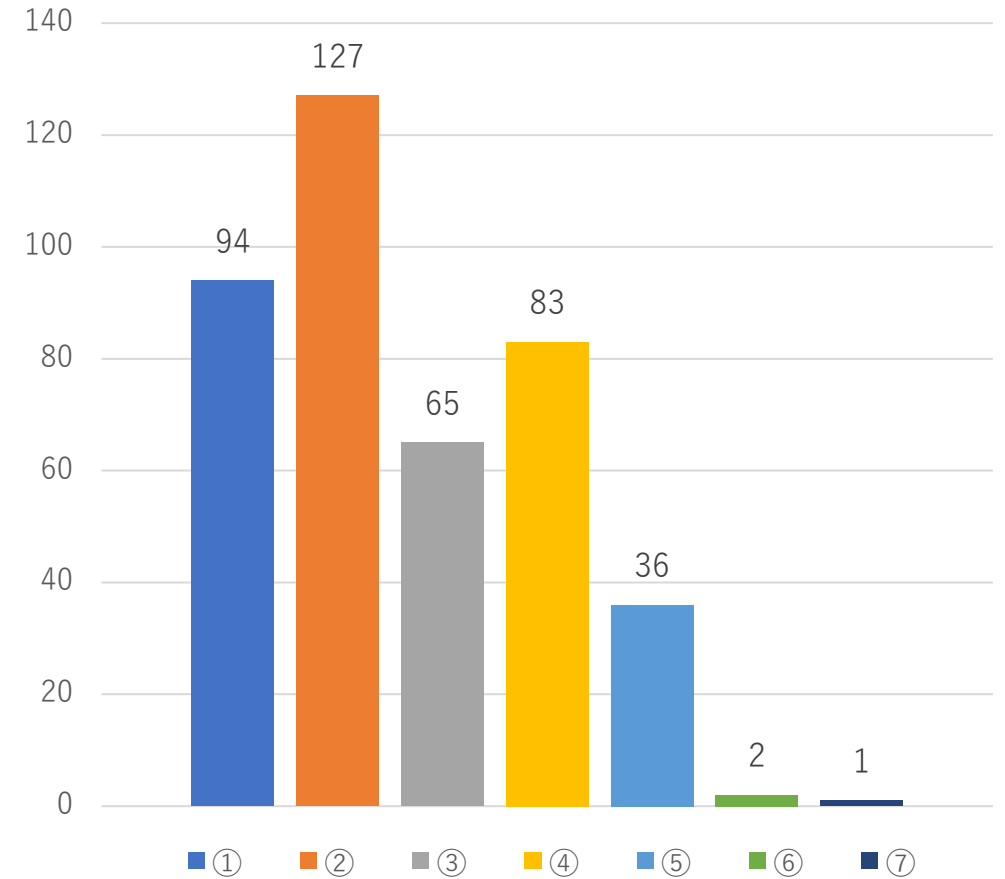
職種	回答数	割合
①主任介護支援専門員	43	28%
②保健師	7	5%
③社会福祉士	7	5%
④第2層SC兼認知症地域支援推進員	6	4%
⑤介護支援専門員	21	14%
⑥薬剤師	32	21%
⑦管理栄養士・栄養士	2	1%
⑧歯科衛生士	5	3%
⑨理学療法士	12	8%
⑩作業療法士	4	3%
⑪その他	15	10%
合計	154	100%



地域ケア会議に参加して、 どのような効果があったと感じていますか。

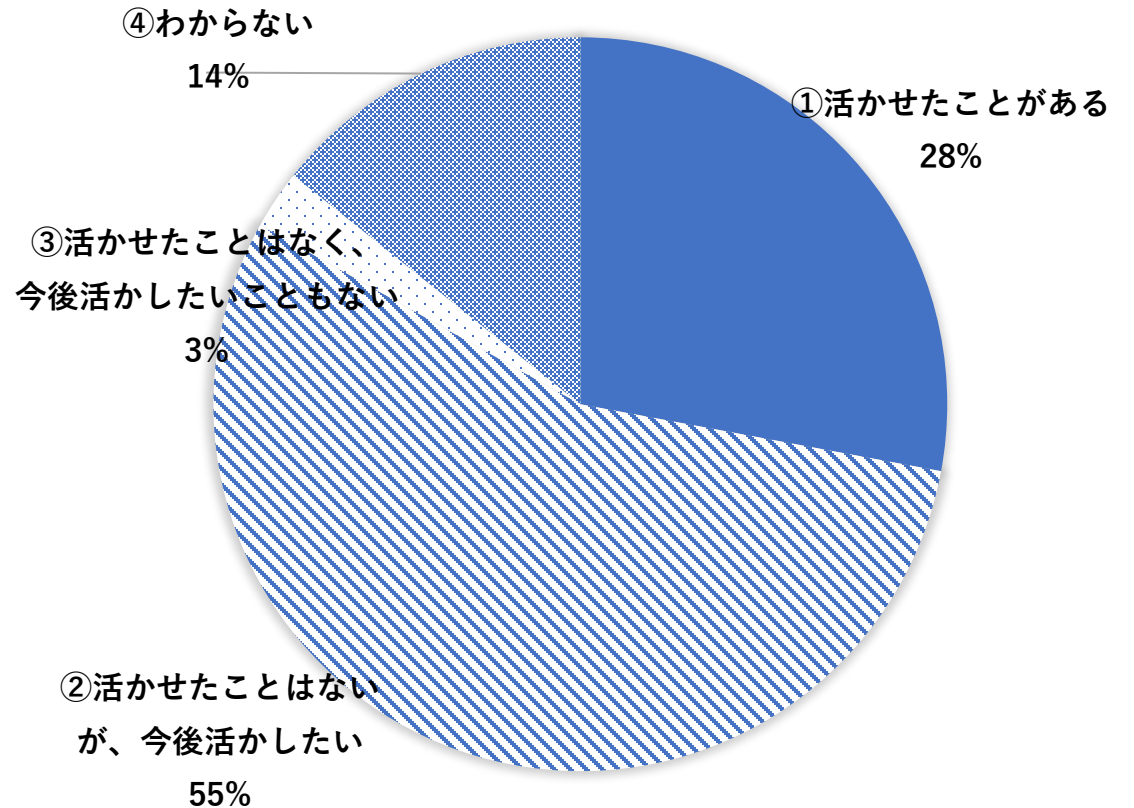
効果	回答数	割合※
①高齢者の生活や強みに着目する アセスメントの視点を得られた	94	61%
②自分の専門分野以外のアセスメント の視点を得られた	127	82%
③高齢者の生活や高齢者支援の実際を 知ることができた	65	42%
④社会資源やインフォーマルサービスの 情報を得られた	83	54%
⑤高齢者支援に関わる専門職や関係者との ネットワークづくりにつながった	36	23%
⑥効果はなかった	2	1%
⑦その他	1	1%
合計	408	

※割合…複数回答式のため、回答者数（154人）に占める割合を記載。



地域ケア会議の内容を、業務に活かしたことはありましたか。

項目	回答数	割合
①活かしたことがある	43	28%
②活かしたことはないが、 今後活かしたい	85	55%
③活かしたことはないが、 今後活かしたいこともない	4	3%
④わからない	22	14%
合計	154	100%



地域ケア会議の内容で、業務に活かしたこと（今後活かしたいと思っていること）について、具体的に記入をお願いします。

※ 以下は、アンケートに記載された主な意見をまとめています。

■ アセスメント全般について

○多角的なアセスメントの視点を学ぶことができた。アセスメントの視点が参考になった。（11）

- ・ アセスメントをより多角的にみるように、心がけるようになった。
- ・ アセスメントを行なう際の、視点が勉強になったので活かしたい。

■ 高齢者の生活や強みに着目するアセスメントの視点

○高齢者の生活に着目するようになった。高齢者の強みに着目するようになった。（13）

- ・ 初回相談時、その人がどのように生活してきたのか経歴ややりたいことを中心に聞くようにしている。
- ・ 社会資源の活用を意識して、生活環境のアセスメントがより具体的になった。
- ・ 高齢者のできない事、課題ばかりでなく、できる事や行っている事、強みを見るようになった。

○ 多職種のアセスメントの視点

○ 多職種の視点が参考になった。（6）

- ・ 口腔や栄養状態が心身の健康状態にもつながっているという視点を改めて考えるようにしている。
- ・ 参加時に検討した事例と類似した利用者様とのかかわりの際に、具体的な情報を提示することができた（栄養・口腔ケアに関して）

○ 口腔や栄養の視点を意識するようになった。（19）

- ・ 高齢者の口腔ケアに着目することによって食事摂取量アップやADLアップにつなげることができることが分かり、歯磨きの状態や入れ歯の不具合等を観察するようになった。
- ・ 栄養状態を確認する際にBMIを高齢者であることをふまえて再評価するようになった。

○ 服薬の視点を意識するようになった。

- ・ モニタリング時に薬局からのA4の処方薬の説明書を全員からお借りし、服薬確認も行うようになった。
- ・ アセスメントの際に服薬内容をきちんと確認するよう意識するようになった。

○ リハビリテーションの視点を意識するようになった。

- ・ 「痛み」の訴えに関して、具体的にどこをどんな時にどんな痛みになるのか意識するようになった。

■ 社会資源の活用について

○ 社会資源やインフォーマルサービスの活用を意識するようになった。社会資源を探すよう意識するようになった。（20）

- ・ ケアプランにインフォーマルサービスも盛り込むようになった。
- ・ 担当地域にこのような高齢者がいた場合、どのような社会資源の情報提供ができる、または、このような社会資源があるとよいな、といったことを考える機会になり、社会資源をより深く・広く聞き取っていくことにつながった。
- ・ 地域の中の資源を見つけられるように訪問時意識するようになった。

○ 社会資源の情報を得ることができた。高齢者へ社会資源の情報提供を行うことができた。（情報提供する予定）（11）

- ・ いろいろな社会資源が理解でき、今後のケアマネジメントに活用できる。
- ・ アセスメントやケアプラン作成の際、実際に（社会資源の）情報提供を行っています。
- ・ 病院から自宅、施設入所する患者さんに対して、それぞれの地域の社会資源等をアドバイスできた。

■ 高齢者支援の現場の実際を知る

- ・他職種のお話を聞くことで、薬局では見えなかった患者さんの生活背景が見え、生活環境を考えた服薬支援ができると思う。
- ・他の薬局の取り組みや、介護事業者様が気になっていることを聞くことができ、薬局にいらっしゃる患者様との話の参考にすることができました。
- ・退院支援の議論の中で、地域をより具体的にイメージしながら考えるようになった。
- ・ケアマネさんや、ヘルパーさんの考え体験を知ることが出来た。

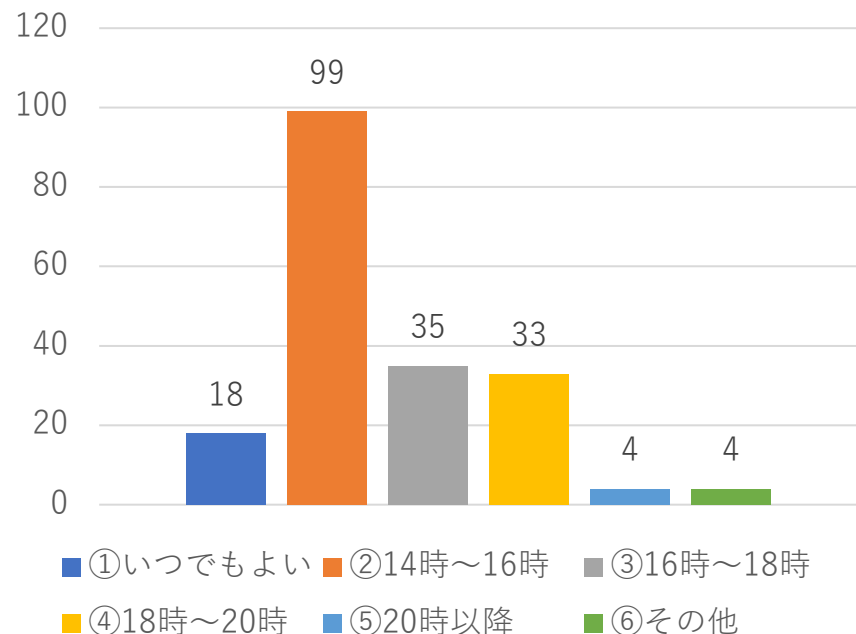
■ 高齢者支援に関わる専門職や関係者とのネットワークづくり

- ・顔が見えるネットワーク作りにつながる
- ・参加した専門職の方とのつながりが持て、担当圏域の地域ケア会議に参加してもらうことができた。
- ・在宅訪問で、どのような多職種が関わっているのか、患者様の薬以外の相談をどこに話したらいいのかが理解できてきた。
- ・職種間で視点の違いがあることを学んだので、支援に悩むときは専門家の意見をどんどん聞いていきたい。

■ その他

- ・ ケア会議で小さな事でも強みと考え、「高齢者がやる気や元気が持てるよう支援します」という事を本人に分かって頂く事が大切だと思いました。何歳になっても生きがいが見つけられたら独居でも寂しさは軽減されるのかな、と思いました。
- ・ 地域ケア会議において多職種の方々の発言を聞いている中で、自分のアセスメントの視点が狭くなっていた事に気が付きました。最近では当施設でも認知症の方々の入所が増えており、アセスメントを行う際の視野を広げていかなければと思いました。
- ・ 包括支援センターをもっと利用者の為にも利用し利用者・家族からの信頼関係を強めていくように、心構えが変わってきています。
- ・ 事業所間でのネットワーク作り、地域とのつながり、医療機関との関係作りなど、気軽に相談ができる環境が整う事が理想であり、そこに近づけるように情報収集や関係づくりをしていきたい。

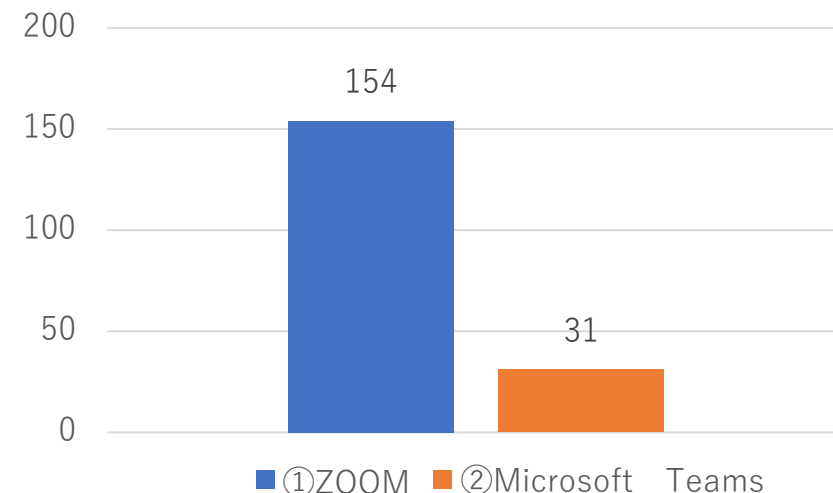
地域ケア会議に参加するにあたり、 都合のよい時間帯について



時間帯	回答数	割合※
①いつでもよい	18	12%
②14時～16時	99	64%
③16時～18時	35	23%
④18時～20時	33	21%
⑤20時以降	4	3%
⑥その他	4	3%
合計	193	

※割合…複数回答式のため、回答者数（154人）に占める割合を記載。

地域ケア会議に参加するにあたり、 利用できるWeb会議システムについて



Web会議システム	回答数	割合※
①ZOOM	154	100%
②Microsoft Teams	31	20%
③利用できるWeb会議システムはない	0	0%
④その他	0	0%
合計	185	

※割合…複数回答式のため、回答者数（154人）に占める割合を記載。

地域ケア会議に参加した感想や、会議に対する意見など

■ 会議の感想、会議の内容に関する意見

○ 専門職の意見が参考になった。様々な方の意見が聞けて良かった。（16）

- ・ 多職種の方々の意見を聞くことが出来てとてもありがたいです。
- ・ 短いスパンで何度も検討できたので支援の引き出しが増えた。
- ・ 専門職からの意見がとても良かったと思います。特に口腔や栄養の部分でとても勉強になりました。
- ・ 普段あまりかかわりのない栄養士などの意見を聞くことができたり、様々な職種からの見立て、手立ては自分にはない視点が多く、とても勉強になっています。

○ その他

- ・ いろいろな意見を聴くことや気づきがあり、楽しく参加させていただいています。
- ・ 気軽に参加できる会議で良いと思う。
- ・ 病院にいと、退院支援を考える際に、患者さんのレベルによっては公的サービスだけではなく地域にある様々な社会資源の情報も必要だと感じることもあり、そのことについて知る機会を求めていましたので、毎日が本当に貴重な時間となっています。

■ 会議の開催方法や運営に関する意見

○ 今後も継続して開催してほしい。（５）

- ・とても参考になっています。今後も継続してほしいと思っています。
- ・今後も継続的に場を設けて頂きたい。高齢者のリアルや悩み、それに対する各立場からのアプローチ。とてもいい試みだと感じています。

○ オンライン開催は良い（４）

- ・職場から地域ケア会議に参加可能な事は、移動時間の節約となり大変助かりました。
- ・コロナもあり、多職種間との交流、連携も以前よりは少なくなったためzoom開催は良かったと思う。

○ 今後も参加したい。（４）

- ・今後も参加したいと思っています。

○ その他

- ・チャットというやり取りの仕方が、意見を出しやすく、良い雰囲気となっていたと感じた。
- ・新たなやり方で、興味深かった。参加者が多岐にわたっているが、予想以上に議論が整理されていた。進行役の技量や準備にかかっている思った。
- ・せっかくの事例発表や発言が聞こえない時があり、とても残念でした。

■ その他の意見

- ・ 全体での会議のほか、圏域ごとのわちゃわちゃ会議があればよいと感じた。
- ・ 参加するだけでなく、もっとフランクに話ができたら、もっといい方向にいくと思います。
- ・ もっと現場の介護者の話を聞きたい、介護現場の実態を知りたいです。
- ・ 介護に関わる多職種が集まる機会を、大切にしていきたい。
- ・ 実際に関わっている通所やヘルパー、訪問看護などの従事者も参加できるといい。
- ・ わちゃわちゃ会議での発案が実践できるプランになれるような地域づくりも同時に展開することが重要と
思いました。
- ・ 自治体により地域ケア会議の形に違いがあると実感しています。今後更なるステップアップの際には、自
立支援の観点からともに考えより良い地域づくりの一助になりたいと考えています。
- ・ 気軽に意見しても、それが「専門職種からの意見」とされるのは、後半の”わちゃわちゃ”話す部分と
ギャップがある。専門性を求めるのであれば、事前に担当を割り当てたらどうか。
- ・ 以前の会議方式の方がいいと思います。また、私立病院はお金が発生しないと収益に影響すると思うので、
考えてあげてください。